

# わが

## 魅力ある未来に向けた 確かな羅針盤づくり

### 歴史に裏打ちされた バランスのよいまち

地域の個性を生かす奥州市は、岩手県南に位置する人口約11万人の歴史あるまちです。交通の玄関口としては、J R東北新幹線の水沢江刺駅、J R東北本線の水沢駅、そして東北自動車道の三つのインターチェンジがあります。産業振興では、農業・商工業が

バランスよく発展して



アrale模様の南部鉄瓶

おり、農業は、県内一の耕作面積を誇る県内有数の稲作地帯であるとともに、畑作や畜産業などを加えた複合型農業が盛んです。市内には二つのJA(農協)があり、「江刺金札米」「江刺りんご」「前沢牛」

などの有名ブランドを有しています。工業製品では、伝統的工芸品の南部鉄器や岩谷堂箆笥(たんす)が高い人気を誇っています。

また、隣接の北上市や金ケ崎町と併せて、自動車や半導体、半導体製造装置関連企業の集積地帯として全国的にも注目されています。現在市内に九つの工業団地があり、令和4年から造成中の新工業団地は、予約時点で完売となりました。

平安時代から北上川を利用した交易が盛んで、南の隣町平泉町は世界遺産平泉でも認められた「みちのく浄土思想」が伝承されており、共助の精神が平安時代から続いています。この伝統精神こそが、これからの地方自治にとって大切な「市民との協働」を推進する源泉であり、このまちの未来に

対して楽観している根拠でもありません。

### まちづくりの

### 「未来羅針盤図」

令和5年4月に政策企画部門に未来羅針盤課を立ち上げ、11月に、新たな公共交通システムの導入など三つの共通プロジェクトと、五つの地域別まちづくりプロジェクトの概要である「奥州市未来羅針盤図」を市民に開示し、議論をスタートさせました。市有地の有効活用による官民連携の市街地開発と市民を主体とする小さな拠点づくりが主要テーマです。「まちづくりはひとづくり」を合言葉に社会の諸課題を分析し、未来に向けたランドデザインの策定を市民参加型で進めており、今後の展開が楽しみです。



市が目指すまちを描く未来羅針盤図

### 高齢化社会の先進地の自覚

本市の高齢化は全国平均よりも10年ほど早く進んでいます。そのため地域医療における五つの市立病院・診療所と二つの県立病院との機能分担・連携強化を目指しています。在宅医療と介護環境改善、医療DX推進による入退院や転院手続きの簡素化や遠隔医療車のへき地医療への活用を並行して進めています。また、元気な高齢者も多い地域ですので、予防検診による早期治療や、介護予防を目



ギネス世界記録を達成した江刺甚句まつり

的として「いきいき百歳体操」の活動支援を行い、高齢者の居場所づくりと社会参画を進めています。少子高齢化による人口の自然減は深刻ですが、誘致企業の転入社員の増加により、人口の社会増が始まりつつあります。全国的な課題である、子育て世代への支援策は、「奥州市親子みらい応援事業」で産前産後ケアや育児支援などで、経済的支援から個別相談まで継ぎ目なく支援しています。

若者世代にとっては住み続けたい場所になり、高齢者にとっては

孤立するこ  
とのない満  
足感ある人  
生を実感し  
てもらえる



郷土の先人「高野長英」「後藤新平」「齋藤實」

出身の大谷翔平選手が、決勝戦前に「憧れるのを見事な声掛けでチームメンバーを奮い立たせたことは有名な人ですが、彼のような人間性に裏打ちされたりー

よう行政が支援することを継続します。そして地域住民間での共助も必要です。「高齢者はびすけつと（微助つ人）」という言葉があるように、彼らの経験を生かした若者世代への支援も、当事者意識の高い市民活動につながっています。最近では実力も気力もある高齢者の割合が相対的に増えました。が、やはり、若い世代にうまくバトンを渡すことも大切です。自治会会長の担い手がいないと嘆くよりは、高校生が会長になって運営している全国の例を参考にすることが未来への投資につながります。

## 文化継承とひとつづくり こそが奥州市の伝統

令和5年春のWBCでは、本市

ダイ的若者がいることが本市の強みです。また本市のユニークな伝統として、25歳および42歳厄年連・年祝連の活動があり、地域の活力になっています。各地域の伝統的なお祭りの実行委員会の一員となり、運営から演舞・衣装デザインまで全て自分たちで企画します。お祭り期間には、全国から中学校の同級生が集まり盛り上げます。市民の

## プロフィール

- ◆ 面積 993・30 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 11万67人
- ◆ 世帯数 4万6484世帯

〔将来都市像〕地域の個性がひかり輝く 自治と協働のまち 奥州市  
〔まちの特徴〕岩手県南に位置し、歴史に裏打ちされたバランスのよいまち  
〔市町村合併〕平成18年2月20日、水沢市、江刺市、前沢町、胆沢町、衣川町の5市町村が合併



奥州市長  
倉成 淳



〔特産品〕江刺金札米、江刺りんご、前沢牛、南部鉄器、岩谷堂筆筒  
〔観光〕歴史公園えさし藤原の郷、正法寺、胆沢ダム、奥州市牛の博物館、奥州宇宙遊学館、衣川ふるさと自然塾  
〔イベント〕日高火防祭、江刺甚句まつり、黒石寺蘇民祭、前沢牛まつり、奥州市南部鉄器まつり、いわて奥州きらめきマラソン大会

力を結集できる素地があるまちといえます。関東大震災から100年が経ちました。その復興を支えたわが郷土の先人・後藤新平翁の教えは、「ひとを育て、そして市民の自治を支援する」というものでした。令和の奥州市政も、未来に向けて市民と一緒に魅力ある「ひとつづくり・まちづくり」に励みます。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# 笑顔あふれるにじいろ都市やす

野洲市は、滋賀県の南部に位置し、JRで大阪まで約60分の距離にあり、京阪神へのアクセスが大変便利です。地形は、南東部の三上山などによって形成する山地部と琵琶湖に向かって緩やかに広がる平たん地に分けられます。

山地部には希望が丘文化公園などの自然環境とレクリエーションが楽しめる施設があり、平たん地は野洲川などで形成された沖積平野で主に農地として利用されています。また、琵琶湖岸周辺には、『ピワコマイアミランド』などのレジャー施設が立地しています。

## 豊かな自然と心を 全ての子の育ちのために

保育所9園、こども園4園、幼稚園4園、学童保育所25カ所を設置し、子どもたちを取り巻く環境

の変化や多様化するニーズに対応しつつ、子どもたちが健やかに育ち、安心して子育てできる環境づくりを進めています。

## 市最大の課題であった 市立病院建て替えへ

現在の市立野洲病院は、民間事業者より事業譲渡を受け、市立病



新病院のイメージ図

院として運営してきましたが、施設の老朽化が著しく本市の地域医療サービスを継続していくため移転新築する方針が出されました。建設地について議論が続いておりましたが、方針決定から十有余年、アクセスが良好なことなどから本市のほぼ中央の場所に当たる野洲市総合体育館東側市有地に決定し、令和5年11月に設計・施工一括で事業者と契約いたしました。令和8年度末に開院予定です。一日でも早い新病院建設に向け尽力していきます。

院として運営してきましたが、施設の老朽化が著しく本市の地域医療サービスを継続していくため移転新築する方針が出されました。建設地について議論が続いておりましたが、方針決定から十有余年、アクセスが良好なことなどから本市のほぼ中央の場所に当たる野洲市総合体育館東側市有地に決定し、令和5年11月に設計・施工一括で事業者と契約いたしました。令和8年度末に開院予定です。一日でも早い新病院建設に向け尽力していきます。

## 歴史が織りなすハーモニー

『永原御殿』は、江戸時代初期に徳川家康・秀忠・家光の3代の将軍が江戸―京都間を往来したときに宿泊した将軍家専用の城郭です。関ヶ原の戦い（1600年）の翌

年までに築かれたとされ、本丸、二の丸、三の丸を備え、本丸には御殿や茶室などがありました。

令和4年度の発掘調査では、本丸の北西端の土塁上から見張りの施設「乾角御矢倉」（隅櫓）の建物基礎の石列が見つかりました。

また、本市小篠原の大岩山丘陵から、明治14年に14個、昭和37年に10個、計24個の銅鐸が発見され、その中には日本最大のものも見つかっています。『野洲市歴史民俗博物館（銅鐸博物館）』では、本市で出土した大岩山銅鐸の展示



2000年の時を超えて今に響く農耕賛歌“銅鐸”



秀麗な姿の近江富士「三上山」



大自然の中でのんびりと「マイアミ浜オートキャンプ場」

山とも呼ばれ、藤原秀郷（俵藤太）が三上山を7巻き半したムカデの化け物を強弓で退治したとの伝説があります。また、三上山に近接する、面積416haの広大な『滋賀県希望が丘文化公

校』の設置が計画されています。令和4年9月にこの建設地がJR野洲駅から1・3kmの距離にある県有地に決定されました。1学年4コース制5学年で、全生徒数600人規模を計画されています。令和10年度の開校に向けて、本市では県や国との連携を深めながら諸準備を進めています。

### 山と琵琶湖の自然を満喫

秀麗な姿の近江富士「三上山」は、本市のランドマークです。高さは432m、山頂まで約40分。表登山道の山頂付近は岩場が続き、そんな山頂からの景色は達成感と安心感が倍増します。ムカデ

を中心、銅鑄の誕生からの移り変わりや鑄造方法などをわかりやすく説明しています。

### ものづくりの気風が育む野洲の産業

本市には、太陽電池セルや電子部品などを生産する未来を追求する企業・事業所が立地しています。独創的で新しい電子機器の可能性を野洲の地から広げています。滋賀県では、次代の滋賀を支え

未来を切り開く人材育成を目的に『滋賀県立高等専門学校

園』があります。芝生ランドでは多くの家族連れが集い、さまざまなスポーツを楽しむことができます。琵琶湖沿いの『ピワコマイアミランド』は、恵まれた大自然の中で、のんびりとテニス、バードウォッチングなどが楽しめ、野鳥公園やアイリスパークでは、四季折々の美しさの中で自然を満喫することができます。また、2022年人気キャンプ場ランキング西日本第1位に輝いた『マイアミ浜オートキャン

### プロフィール

- ◆ 面積 80・15km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 5万741人
- ◆ 世帯数 2万1559世帯



野洲市長 栢木 進

〔将来都市像〕多様な人々と多彩な自然が調和した、個性輝くにじいろのまち

〔まちの特徴〕歴史、文化と豊かな自然などの地域資源を生かし、ものづくりの魅力を発信するまち



〔特産品〕地酒「月夜のゆりかご」、手延べたてうどん、田舎みそ、近江銘茶、あやめロール

〔観光〕ピワコマイアミランド、マイアミ浜オートキャンプ場、めんたいパークびわ湖、希望が丘文化公園、兵主大社、御上神社

〔イベント〕兵主祭、三上のずいき祭、お田植まつり、マリンスポーツフェスティバル、おいで野洲まるかじりフェスタ

プ場』は、一年を通して多くのキャンプパーにぎわっています。令和3年12月10日にオープンした琵琶湖岸の『めんたいパークびわ湖』には、いろんなめんたい商品を購入できる直売所や軽食が楽しめるフードコーナーがあり、2階の琵琶湖サンセットテラスからは、琵琶湖対岸の比良山系に沈む夕日を望むことができます。令和4年には113万人の観光客が訪れました。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## しまに生き、しまを活かす —将来にわたって住み続けられる島へ—

五島市は、九州最西端の長崎港から西へ約100km離れた五島列島の南西部に位置し、10の有人島と53の無人島から構成されています。海岸線の長さは549kmと長崎県全体の13・2%を占め、リアス海岸や溶岩海岸、砂浜海岸など変化に富み、荒波を受けた断崖や白い砂浜、火山活動の痕跡など島全体に貴重な景観が見られます。この美しい景観は海に囲まれた島ならではのものです。魚や五島牛、農作物などのおいしい食は、対馬暖流による比較的温暖な気候に

よってもたらされています。また、国境の島で、古くから大陸との交流拠点となるほか、潜伏キリシタンの歴史が数多く存在しています。

超える社会減に悩まされ続けてきましたが、令和元年、本市としては初めて社会動態人口が33人のプラスに転じました。翌年もプラス69人となり、2年連続で社会増を達成しました。

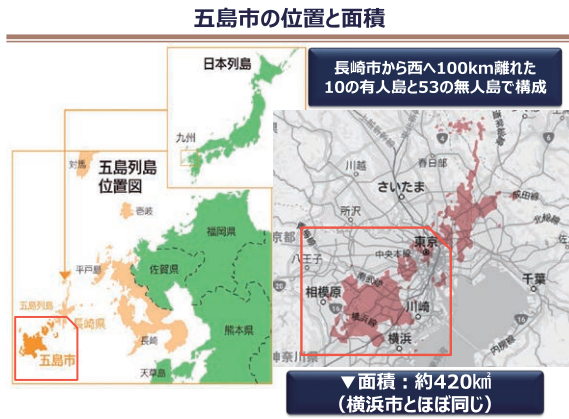
市内の高校卒業生をはじめとする求職者の就職先として地元の事業所が選ばれるようになり転出が抑制されています。また、平成27年度からは人口減少対策として移住促進に取り組み、それまで20人前後の実績でしたが、毎年200人を超える方を受け入れるようになり、ここ5年間で1100人余りの方が移住しました。7割以上が40歳未満と比較的若い子育て世代の移住が増えています。

雇用をつくり、移住者を増やす

人口が最も多かったのは昭和30年の9万1973人で、令和2年の3万4391人(国勢調査人口)と比較すると65年間に63%減少したことになります。人口減少対策が最重要課題となっている中、地元選出国會議員をはじめ関係者のご尽力により、平成28年に有人国境離島法が成立し、同法に基づく「雇用機会拡充事業」や地方創生交付金などを積極的に活用し、雇用の拡大や移住促進などを展開してきました。これまで250人を

市内の高校卒業生をはじめとする

三冠を活かして、交流人口を増やす



人口が最も多かったのは昭和30年の9万1973人で、令和2年の3万4391人(国勢調査人口)と比較すると65年間に63%減少したことになります。人口減少対策が最重要課題となっている中、地元選出国會議員をはじめ関係者のご尽力により、平成28年に有人国境離島法が成立し、同法に基づく「雇用機会拡充事業」や地方創生交付金などを積極的に活用し、雇用の拡大や移住促進などを展開してきました。これまで250人を

五島市の異動人口推移

区分	有人国境離島法施行 (単位：人)								
	平成24年(2012年)	平成29年(2017年)	平成30年(2018年)	令和元年(2019年)	令和2年(2020年)	令和3年(2021年)	令和4年(2022年)	令和5年(2023年)	
社会増減	転入	1,291	1,187	1,285	1,289	1,313	1,172	1,343	1,348
	転出	1,539	1,322	1,451	1,256	1,244	1,396	1,364	1,323
	小計	▲248	▲135	▲166	33	69	▲224	▲21	25
自然増減	出生	243	190	221	196	189	195	173	166
	死亡	670	659	663	618	674	682	704	725
	小計	▲427	▲469	▲442	▲422	▲485	▲487	▲531	▲559
合計	▲675	▲604	▲608	▲389	▲416	▲711	▲552	▲534	

出典：長崎県異動人口調査

五島は遣唐使最後の寄港地となり、空海が遣唐使船で中国へ渡り、帰国後に真言宗を開いたことは有名です。五島には空海に関する伝説が残っていることから、大陸とつながりのある県内の島と共に「国境の島 壱岐・対馬・五島」として日本遺産へ認定されています。また、キリスト教禁教期の日本において、ひそかに信仰を守り続けていた人々の歴史が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺



国内初の商用規模浮体式洋上風力発電施設「はえんかぜ」

島の特性を活かし五島市沖で始まった浮体式洋上風力発電の実証事業は、地元関係者の協力の下、10年余りの歳月を経てウインドファーム事業が動き出しました。令和8年には市内で消費される約8割に相当する電力を再生可能エネルギーに

## 実証から実装への 仕組みをつくる

日本遺産、世界遺産、ジオパークの三つの資産を持つ自治体は非常に珍しく、私たちは「三冠達成」として西海国立公園の一角を占める本市の情報発信に努めるとともに、国内外からの誘客を強化し交流人口に力を入れています。

「産」として世界文化遺産へ登録されました。そして新たに、地質や生態系においても大陸とのつながりがある歴史や文化が一昨年「五島列島（下五島エリア）ジオパーク」として日本ジオパークに認定されました。

よって賄える見込みとなっており、これからの取り組みにより2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロの早期実現を目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、再生可能エネルギーの地産地消を図りながら、地球温暖化防止対策に取り組みすることを宣言しています。すでに事業者・団体の活動で使用する電力を全て五島産の再生可能エネルギーで賄い、二酸化炭素ゼロを目指す五島版RE100の取り組みが始まっています。

このほか人口減少や少子高齢化による人手不足、移動手段の確保などの課題解決に向け、これまでに実施したICTやドローンなどによる実証事業を踏まえながら、オンライン診療や服薬指導、モバイルクリニック事業、物流の実装など、長崎大学や医師会、民間事業者の皆さまと一緒に取り組み、将来にわたって人が住み続けられる島づくりに努めています。

## 新たなまちづくりを目指す

すでに日本全体の人口が減り始めている。このまま何もしなければ本市の人口は2060年に1万115人になると推計されています。職員に対しては人口減少に関係ない部署はないと伝え、「社会増への再挑戦」として取り組み、コロナ禍でマイナス200人台まで落ち込んだ社会動態人口を一昨年はマイナス21人まで抑制し、昨年は再び25人の社会増を達成しました。

今年、合併20周年を迎えます。コロナ禍を経験し、これまでとは異なります。職員に対しては人口減少に関係ない部署はないと伝え、「社会増への再挑戦」として取り組み、コロナ禍でマイナス200人台まで落ち込んだ社会動態人口を一昨年はマイナス21人まで抑制し、昨年は再び25人の社会増を達成しました。

## プロフィール

- ◆ 面積 420・12km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 3万4488人
- ◆ 世帯数 1万9490世帯

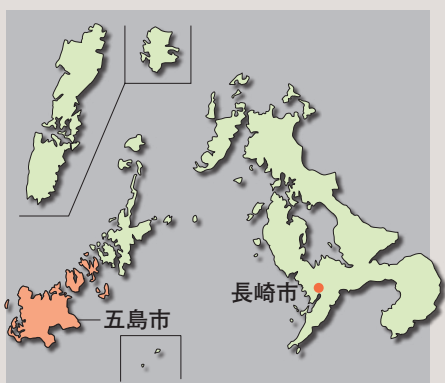


五島市長  
野口市太郎

〔まちの特徴〕九州の最西端に位置し、日本遺産、世界遺産、ジオパークの三つの資産を持つ歴史や文化、自然豊か  
なしま

〔市町村合併〕平成16年8月1日、福江市、富江町、玉之浦町、三井楽町、岐宿町、奈留町の1市5町が合併

〔特産品〕かんころ餅、五島うどん、五島牛、キビナゴ、練り物、からすみ、



つばき油、ばらもん風、焼酎（五島麦、五島芋）、五島ワイン、ジン（GOTOGIN）

〔観光〕大瀬崎灯台、高浜海水浴場、鬼岳、福江城（石田城）、久賀島の集落、奈留島の江上集落（世界遺産）

〔イベント〕五島長崎国際トライアスロン、五島列島タケマラソン、五島椿まつり、福江みなとまつり、小正月の伝統行事ヘトマト

今年、合併20周年を迎えます。コロナ禍を経験し、これまでとは異なる新しい価値観やライフスタイル、そして経済モデルの中で将来あるべき姿を見極め、その実現のためのまちづくりを展開していくことが必要になっていきます。島で生きるために私たちはDXやGX、E B P Mの視点を持ち、島の資源を活かしながら、人口減少を抑制し豊かな社会・経済モデルの確立を目指して推進してまいります。

今年、合併20周年を迎えます。コロナ禍を経験し、これまでとは異なる新しい価値観やライフスタイル、そして経済モデルの中で将来あるべき姿を見極め、その実現のためのまちづくりを展開していくことが必要になっていきます。島で生きるために私たちはDXやGX、E B P Mの視点を持ち、島の資源を活かしながら、人口減少を抑制し豊かな社会・経済モデルの確立を目指して推進してまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。